

平成30年度事業計画

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

基本方針

我が国の経済は、アベノミクスの推進により、雇用・所得環境の改善が続く中で、経済の好循環が更に進展し、民需を中心とした景気回復が見込まれると見通しています。

一方、地方では景気は緩やかな拡大に転じつつあり、雇用情勢においても確実に改善しているとされています。しかし、高齢化は進み、当センター管内の高齢化率を見ますと、平成29年2月1日現在で、香美町が39.0%、新温泉町が38.4%と、前年に比べ1.1から1ポイント上昇し、県平均27.5%を大きく上回っています。(兵庫県高齢者保健福祉関係資料参考)

少子高齢化が進む中で、シルバー人材センターは、地域の日常生活に密着した就業機会を提供するなどにより、高齢者の居場所と出番をつくり、「生涯現役社会」の実現に役割を果たし、地域社会の活性化と医療費や介護給付費の削減に、寄与するよう取り組みます。

本年度は、管内の過疎化、高齢化が進み、空き家が増えつつある現状に対応するため、空き家サポート事業に取り組みます。また、身体を動かす事の大切さ、一日の生活リズムの場づくりとして、昨年は、健康体操スタッフの養成と、下期には、一部地域のサロンで健康教室を開催しましたが、本年度は、本格的に、地域のサロンへ訪問して「健康教室」の開催など、地域が元気になることへのお手伝いをして参ります。

シルバー人材センターとして、高齢者と地域の仕事を結びつけることは、地域社会の活性化に貢献することであり、高齢化が進んでも、健康で働く意欲を持った高齢者であれば、誰にでも参加の道を開き、豊かで積極的な高齢期の生活と、社会参加による生きがいの充実、健康の維持・増進を図れるよう、また、中期5ヶ年計画の最終年度、目標達成に向け、会員の確保・拡大、就業機会の拡大や「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、会員・役員・職員が一丸となって、行政等と連携しながら、事業展開して参ります。

具体的実施計画

1 高年齢者の就業に関する情報の収集及び提供

(1) 広報の充実

①会報「シルバーみかた」を年2回発行する。

1回目は7月発行（会員向け）し、2回目は、1月に美方郡内全戸配布とする。

②事務局だよりの発行

会員向けに、タイムリーなお知らせや情報の提供をします。（年2回）

また、地域の皆様へ、シルバー事業のPRや入会の募集等、年1回配布します。

(2) 会員（地域班委員）の事務局業務への活用

①定時総会、地域懇談会等会員を招集する会議への出席率向上に取り組む。

②会員への連絡事項の伝達及び総会資料、会報誌、情報紙等の配布。

(3) ホームページの活用

見やすく、また、内容の更新をこまめに行う。

2 高年齢者の就業に関する調査研究

事業所、公共他各種団体、家庭を訪問して、就業開拓ならびに情報の収集を積極的に行います。香美町の「香美町高齢者福祉計画策定委員会会議」への参加他、上部団体等が実施する研修会に積極的に参加します。

3 高年齢者に対する就業相談の実施

(1) 入会説明会の開催

①定期開催……………毎月第2火曜日9：30～センター会議室にて開催。

②臨時・出前開催……………要望があれば、定期開催に限定せず、弾力的に開催して入会者の拡大を図る。

(2) 会員の確保、増強

①職員による、訪問・DM等による会員の確保・拡大。

②会報シルバーみかた、事務局だよりの、チラシ、ホームページ等によるPRや、家事援助従事者募集、会員以外の一般の方も対象にした講習会への参加の呼びかけを行い、会員増につなげます。

③会員を増やす手段として新規入会者の多くは既存会員からの紹介が最も多く効果的である事

から、会員の皆様方から友人・知人の紹介活動の強化をお願いすると共に、退会者の抑制と魅力ある就業先確保に努めます。

☆会員一人一会員加入を目指して取組む事としますのでよろしくお願ひします。

④会員の配偶者の積極加入、夫婦同時加入の推進。

⑤ハローワークに定期的に出向いて、情報の収集を行うなど連携強化。

4 高年齢者に対する臨時的かつ短期的な就業、又はその他の軽易な業務に係る就業の機会の確保及び提供

(1) 職員による家庭や事業所、公共機関への訪問により就業の拡大確保に努めます。

(2) 新規就業機会の拡大を図るため、訪問し提案・相談を行います。

5 臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高年齢者への職業紹介事業又は一般労働者派遣事業の実施

(1) 職業紹介事業

(公社)兵庫県シルバー人材センター協会が実施する有料職業紹介事業の実施事業所として、高年齢者に適した臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務に係る雇用を希望する高年齢者に職業紹介事業を実施する。又、協会と緊密な連携を図りながら、高年齢者の多様な働き方の選択肢として実施します。

(2) 一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）

(公社)兵庫県シルバー人材センター協会が実施する一般労働者派遣事業（シルバー派遣事業）の実施事業所として、高年齢者に適した臨時的かつ短期的又はその他の軽易な業務に係る雇用を希望する高年齢者にシルバー派遣事業を引き続き実施します。又、協会と緊密な連携を図りながら、高年齢者の多様な働き方の選択肢として実施します。

6 高年齢者に対する臨時的かつ短期的な就業及びその他の軽易な業務に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習会等の開催

会員の能力向上、各種講習会・研修会を開催し会員のスキルアップに努めます。また会員以外の一般の方にもご参加頂ける講習会を計画します。

講習会名	内容等	時期
刈払機取扱い講習会	始業前点検や整備方法、実技等	6月
家事援助従事者研修会	香美町、新温泉町各一回開催	
健康体操スタッフ養成講習会		
調理補助講習会 (生活支援スキルアップ講習会)	家事援助等(掃除・調理) (兵シ協人材育成事業)	7月
植木剪定講習会	松、雑木等一日講習 会員以外の一般の方も受講可能	9月
果樹剪定講習会	梨他果樹剪定講習	10月
自動車運転者講習会	自己運転能力チェック等	春、秋
シルバードライバーズスクール	美方警察署協力	春、秋
寄せ植え講習会	クリスマスや正月向けの花 会員以外の一般の方も受講可能	12月
派遣事業教育訓練	マナー、接遇等の講習	2月
襖・障子張り講習会	襖・障子・網戸の張替	3月

7 安全・適正就業と健康管理

安全は全てに優先する事を基本に、安全就業基準を守り、就業中のみならず、就業途上での交通事故等の防止に取り組み、徹底して安全対策に努めます。

また、適正就業基準により、就業機会の衡平化を図ります。

健康で働ける事は何より大切ですので、町の健康診断は必ず受診して日頃の健康管理に努めて頂きたいと思います。

(1) 安全就業の徹底

兵庫県下の事故発生状況を見ると、就業中の墜落、転倒等による事故が多く、傷害事故が平成28年度に比べ、平成29年度は増加しています。当センターは、事故ゼロが継続していましたが、8月に傷害事故が1件発生しました。本年度は事故ゼロが一日でも長く継続できるよう、会員、役職員が一丸となって安全就業に取り組めます。

①業務担当理事と職員による就業現場へのペナルティパトロールの実施。

実施月(6月～10月の各月)7月はこれまでの安全パトロールを兼ねる。

②安全ニュースの発行

交通安全運動、シルバー人材センター安全適正就業月間等の安全ニュースやお知らせ版を
随時発行（年5回程度）

③安全意識の徹底

- ・安全就業基準を遵守し、ヘルメット・安全ベスト等の安全保護具の着用を徹底する。
- ・草刈り作業時に財物のある付近では石飛防止ネット等で「必ず養生を行う」。

(2) 適正就業の推進

シルバー人材センターは、会員に働く機会を提供することを通じて、会員の生きがいの充実や生活の安定、また、地域社会の発展や現役世代の下支えなどを推進することを目的としています。

仕事の受注に当たっては、高齢者であることに配慮し、その体力・能力に見合った仕事とする事を基本に、危険または有害な作業内容のものは引受けません。

シルバー人材センターは、臨時的かつ短期的な就業またはその他軽易な業務に係る就業機会を確保し、シルバー人材センターで働く高齢者の就業日数と就業時間は、おおむね月10日以内、または、おおむね週20時間を超えない範囲内で、組織的に提供することとしており、適正就業ガイドラインを遵守するためにも、会員の理解を高め、発注者の協力をいただいて、適正就業に努めます。

8 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

(1) 各種会議の充実

会議等名称	時期等
定時総会	毎事業年度終了後、5月に開催
理事会	5月、7月、10月、1月、3月
監事監査	年2回監事監査を実施（5月、10月）
三役会議	理事会開催月、理事会資料内容の確認
理事会部会 業務委員会 総務委員会	委員会の開催、パトロール等安全施策の取組む方針の決定等 次期中期計画の検討（H31～H35） 会報「シルバーみかた」の編集・発行
運営委員会	香美町観光商工課・新温泉町商工観光課との連携
地域懇談会	12月 会員と理事・事務局との意見交換
職群班会議	草刈り班地域別に開催、剪定班全体で開催

(2) 事業拡大を目指して

①新しい事業への取組み

▶ 空き家サポート事業

「生まれ育った思い出いっぱいのご実家」遠くて見に行けない方に代わって、ご実家を会員が外側から目視で現状確認を行い、依頼者へ報告します。

▶ 健康教室の体制強化

地域のサロンへ出向いて教室を開催するとともに、研修会、講習会への参加や内部研修の実施によるスタッフの養成を行います。

②独自事業の実施

3年目を迎えた、梨栽培事業ですが、就業機会の拡大と、会員の技術の向上、収支均衡を図り、良質の梨作りに努めます。また、イベントへ参加し、晩生梨の販売を行います。

③家事援助サービスの取組み

介護予防・日常生活支援総合事業」の訪問型サービスの一つの担い手として、継続的に受託するにあたり、会員の充実を図るためにも、町の地域包括支援センターによる研修会を開催し、また、会員間の交流、意見交換の場として、スキルアップ研修を行い、スムーズな家事援助サービスの事業運営ができるよう努めます。

(3) 組織づくりの強化

①事務局体制の強化

- ・職員会議による情報の共有化（毎月1回開催）
- ・週末の終業時ミーティングによる情報の共有化と連携強化

②兵シ協「但馬丹波ブロックシルバー人材センター」相互間での連携強化

※但馬丹波ブロック SC=美方郡広域、豊岡市、養父市、朝来市、丹波市、篠山市の6センター

③関係会議・研修会への積極的参加

(4) 財務基盤の確立

- ①予算執行状況の職員間での情報共有。
- ②国・行政補助金の確保。（行政へのお願い）
- ③収支相償の明確な会計処理。
- ④シルバー保険料の会員の一部負担の継続実施。

(5) 会員の福利厚生の充実

会員相互のコミュニケーションの充実の為、一人でも多くの会員が参加できる福利厚生事業を実現します。

①親睦旅行（11月に実施予定）

②理事長杯グラウンドゴルフ大会（6月に開催予定）

③サークル、同好会活動

(6) 地域貢献活動（ボランティア）の実施

ボランティア活動は、地域に貢献するとともに、センターが地域の信頼を得るためにも、極めて有意義な活動です。

今年度も全地域で、地域に合ったボランティア活動を積極的に実施参加します。